

新緑

病院の理念

～心のかような病院を目指して～

私たちは地域に根ざし、皆様と心の触れ合える病院を目指します



CONTENTS

ご挨拶【藤岡総院長、野柳副院長】
新型インフルエンザ患者発生時対応訓練
第35回大分県病院学会
医学生の地域医療実習
消防訓練を実施
病児保育室～なないろ通信～
ものわすれ相談室便り
交流会 in 別府杉乃井ホテルバイキング
レクリエーションコーナー（4F、菜の花、サングレイス香々地）
学会・勉強会報告
診察医師及び受付時間のご案内



謹賀新年

～ 新年のご挨拶 ～



戌年

総院長 藤岡 利生



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはつ

つがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。医療法人新生会では2016年から「医療法人新生会中長期計画」に基づき、地域の中核医療機関として持続的に地域社会に貢献できる魅力ある組織づくりを進めて参りました。

この度、その一環として、2018年2月から院内の施設を増改築して、「総合診療科・ものわすれ相談室」が装いを新たに「総合診



総合診療センター・ものわすれ相談室

療センター・ものわすれ相談室」として開設されました。これは、昨年7月に豊後高田市、豊後高田市医師会およびエーザイ株式会社と連携して推進する「認知症の方が安心して暮らせるまちづくり連携協定」に参画し積極的に推進するための機能を果たすものと期待しています。

今後、益々認知症患者が増加することが予測されることから、当院では地域のニーズに対応できる体制を整備致しました。新生会は、今後も地域の中核医療法人として地域社会に貢献して参ります。本年もご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。皆様にとりまして、本年が素晴らしい年となりまして、新年の祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

副院長 野柳 俊明



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

年、平成の時代も残り少なくなつ平成30

てまいりました。思い返せば新卒医師の頃明治、大正、昭和と激動の時代を駆け抜けた患者さんに接する時に鍛え方が違うのだな、医療技術の発達してない時代によく生き抜いてきたと感心することがありました。皆さん我慢強く、心が広がった、私のような未熟な者にも将来の医療技術の発展にお役に立つのならと決して上手ではない点滴にも進んで腕を差し出して戴いたおかげで今の自分があります。

我が身を振り返ってどうだろうか？今まで接した先達のような暖かい思いで後輩達に接することができるのか？まだ日々の診療業務を全うすることで手一杯の自分の無力さが身にしみます。

今年も患者さんにできることを精一杯行つて、少しでも患者さんに喜ばれるようにと努める所存です。

「新型インフルエンザ患者発生時対応訓練」



院内受け入れ体制の確認をするミーティングを行った



防護服を着用



立ち入り制限の案内と立ち入り禁止テープを設置



患者をアインポット（感染防止搬送用具）に収容して搬送



防護服を着用

感染対策委員 熊埜御堂 章
 平成29年11月26日、北部保健所豊後高田保健部および市消防本部と連携して「新型インフルエンザ患者発生時対応訓練」を行いました。
 訓練は新型インフルエンザの県内発生早期の想定で、市内で新型インフルエンザの感染を疑わせる患者が発生、その受け入れ、対応を訓練しました。



問診とバイタルチェック

訓練では、個人防護具を着た救急隊員、保健所職員がアインポット（感染防止搬送用具）に患者を収容し、病院に搬送。病院では患者の受け入れ態勢を整えて、検体採取や診察などを行いました。各関係機関が連絡を密にし、情報の共有に努め協力して緊急時の対処方法を確認しました。訓練終了後には、感染防止に重要な個人防護具の脱衣方法の確認も行いました。



医師による診察



検体採取



総評

防護具の脱衣方法の確認



キーボードにカバーをかけた電子カルテPC



保健所による問診



患者をベッド移動



今回の訓練を通じて得られた教訓を感染症流行時の対応に活かし、しっかり準備していきたいと思えます。



第35回 大分県病院学会

学会テーマ…敬天愛人、最高のリスク管理と最高のサービスを地域社会へ

11月19日（日）別府ビーコンプラザにて
第35回大分県病院学会が開催されました。
当院からの参加者は42名でした。
そのうち5名が発表しましたのでご紹介します。

作業療法士 藤原 裕希
演題名「車椅子座位で下肢をサポートする手作りアイテムの紹介」
で今回初めて参加しました。

リハビリテーションでは、下肢の筋力低下などで自発運動が十分に出来ない患者に対し、車椅子による離床を開始することがあります。その際、下肢をフットレストに接触させてしまう、足部がフットサポートから落ちやすいと言った「下肢の保護」に注意を要すケースがあります。そのような時に下肢をケアできるアイテムを手作りで作成し、対象患者様に使用したので、その活動内容について口述発表しました。

当日は県内の病院から色んな職種の方が集まり、たくさんの方で賑わっていた為、発表時は少し緊張しました。発表後は達成感もありましたが、これに満足せず、今後も患者一人一人に応じた用具の考案・作成・運用を継続し、患者

にとって安全で快適なリハビリテーションを提供していければと思います。



外来看護師 河野 みゆき

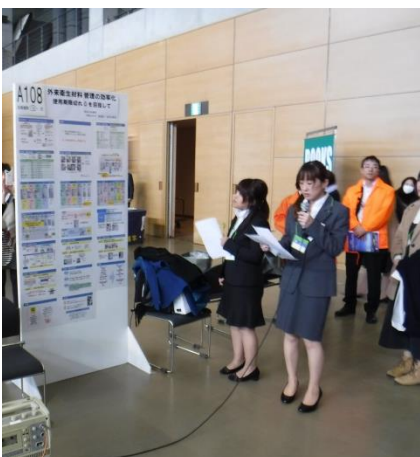
昨年度TQM発表大会で最優秀賞を頂いた「衛生材料管理の効率化 使用期限切れ0を目指して」を、今回、病院学会で発表しました。

この取り組みは、各診療科担当看護師が行っていた衛生材料管理を中材スタッフが行う事で、管理の中央化、業務のスリム化、効率

化を図ったものです。それにより、期限切れ材料はなくなり、再滅菌にかかる材料や業務が削減され、看護師の衛生材料管理業務が削減されました。

今回、私は病院学会での発表は初めてであり、とても緊張しましたが、傾聴してくださる方も多く、また様々な職種の方々の発表が聞けてとても勉強になりました。

この経験を活かし、今後も必要な時に安全な材料で安心して適切な処置をうける事ができ、信頼される患者ケアを目指して、頑張っていきたいと思えます。





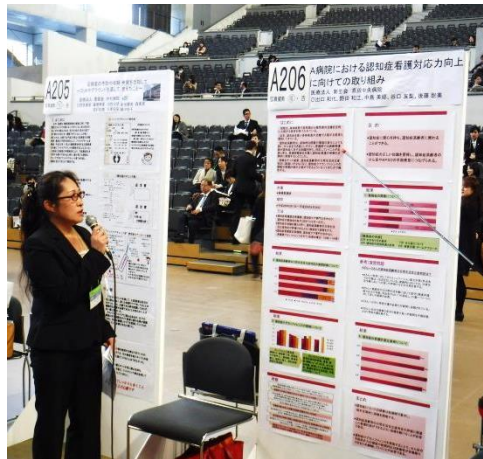
医事課 久松 優太

11月19日(日)に第35回大分県病院学会に口演者として参加致しました。

演題名は「健診内容の充実・満足度向上への取り組み」について発表を行いました。今回の演題の取り組みについて特に力を入れたことは、健診の始めから終わりまで、それぞれ関係部署での待ち時間調査を行ったことと、健診オプション表を作成し、健診内容を充実させた事です。待ち時間を調査することにより、要因を分析、対策を立案し、結果として健診時間の短縮に成功しました。また、健診オプション表を企業にアピールする事で徐々にではありませんが、健診にオプションを付けられる企業が増え、満足度向上に繋がったと考えます。

今後も今回の取り組みを継続し

て行うことにより、健診をより良いものにして行きたいと思えます。この度は、貴重な経験をさせていただきありがとうございます。



病棟看護師 出口 和代

今回、大分県病院学会に参加させていただき「A病院における認知症看護対応力向上に向けての取り組み」という演題で発表しました。

発表内容は、近年、急性期から慢性期の治療を目的として入院される患者に、認知症を患っている患者が多くなってきている中、日々患者と向き合っている看護師の認知症に対する対応力の向上を目的に平成29年6月〜9月までの

4ヶ月間、月2回の研修を実施した結果をまとめたものです。

病院学会では、「最高のリスク管理と最高のサービスを地域社会へ」というテーマのもと、多くの病院から看護師、他職種の方々の取り組みが発表されており、良い刺激を受けることができました。多くの方々の前で発表することはとても緊張しましたが、良い経験にもなりました。今回の経験を活かして、今後も自己研鑽していきたいと思えます。



ものわすれ相談室 後藤 聡美

「地域の連携で認知症者の内服管理を支援する」外来患者の1例より」という演題で発表をいたしました。

認知症を患いながら独居で生活をしている高齢者は増加傾向にあります。当院の外来においても、物忘れ相談を受けていると、子供たちは遠方に住んでおり「内服の管理が十分に支援できない」「お金の管理ができなくなってきているようだ」「何度も同じことで電話をかけてくる」等、診察日当日に付き添って日頃の様子を伝えてくるケースがあります。

軽度認知障害(認知症予備軍)や軽度認知症の患者さんは生活に支障があっても、介護認定の調査時には日頃以上の力を発揮することも多くみられます。結果、要介護認定は非該当もしくは要支援レベルとなり十分なサービスの利用につながらず、ご本人やご家族が困り相談してくるケースもあります。

今回は独居の軽度認知症高齢者が安全に確実に内服管理ができるように、家族や地域の専門職が連携し支援したケースです。病院は薬を出すだけでなく、安全に内服管理ができることにも視点を向けて支援できるように外来看護の可能性を検討した内容となりました。

医学生の地域医療実習



養護老人ホーム



消化器疾患 内視鏡センター



通所リハビリテーションデイケア

広報委員会 野上 麻友美
9月から11月にかけて、大分大学医学生5年次生(3組6名)の地域医療実習が行われました。カリキュラムは、1組約2週間で組まれ、今年で3度目になります。実習へは、院内だけではなく院外(養護老人ホーム、サテライト診療所、へき地診療など)遠方にも行ってもらいました。実際の医療現場や地域で求められている医療の

実態を体験してもらい、地域医療の魅力を学びとつてもらえたかと思えます。また豊後高田市の魅力も併せて知って欲しかったので観光パンフレットもお渡ししました。週末を利用してお食事や観光を楽しまれたようです。将来、皆さんが地域の医療現場で活躍することを期待しています。



老人保健施設サテライト診療所



病棟



リハビリテーション

消防訓練を実施

経理課 河野 雄介

不特定多数の人が出入りする防火対策物には、年2回以上の消防訓練が義務付けられており、本院でも12月6日に今年2回目となる消防訓練を実施しました。

3階パントリーが火元という想定の下実施し、患者の誘導方法や管理者までの報告手順、

水消火器を使用しての消火訓練等、有事の際の対応方法を確認することができました。

消防の方の総括によると、階段を降りる際の声かけ、火元の部屋の開け方に改善が必要とのことで、正しい方法をご教示いただき、改善点を知る良い機会となりました。

火事です





保育士：工藤 未来 古殿 美奈

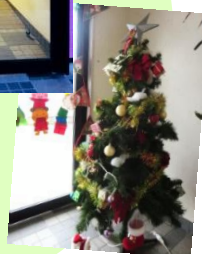
インフルエンザが流行りはじめ、病児保育室の利用も多くなっています。

病児保育室は南側に大きな窓ガラスを設け日当たりを良くしています。ただ、お昼寝タイムのときはカーテンを下ろしても太陽の光がもれたり日差しが強すぎたりして落ち着いて眠れない時がありました。そこで南側の窓には遮断性の強い遮光カーテンに変更し、更に隣の部屋との間にもカーテンを取り付け快眠を確保しました。今後も安心して過ごせるよう働きかけたいと思います。



遮光カーテン(南側)

お昼寝タイム



毎月、ちがった壁面を作っています！！



小児科の壁面も定期的に子どもに馴染みのあるものに作りかえています！



ものわすれ相談室便り

本人交流会：九州ブロック大会

ものわすれ相談室室長
認知症看護認定看護師
後藤 聡美



12月10、11日に認知症の人の『本人交流会：九州ブロック大会』が別府市の豊泉荘で開催されました。ご本人、介護されているご家族、その方々のサポート者全員で約60名が集まりました。懇親会も含め、とても穏やかに会が進んでいました。

参加されたご本人からも色々なご意見を頂きましたが、中でも印象的だった方の言葉をご紹介します。

▶ 自分も認知症との境界にいるが、薬を飲みながら周りの人に支えられ、妻の介護ができています。オレンジカフェや家族の会にケーキを焼いて妻と一緒に楽しみながら参加できている。

(70代男性)

▶ 認知症を診断されたときに、『終わった…』と思ったが、沢山の人が自分のために動いてくれ、今は新しく働く場所ができた。自分の役割があるとまだまだ頑張れる。

(60代男性)

ものわすれ相談室にも様々な困りごとを抱えて相談に来てくれる方が沢山います。本人交流会で語ってくれた方々のように、認知症になったら終わりではなく、ご本人ができることを見つけご本人もご家族も困らず生活していけるように支援を続けていきたいと思ひます。

別府 杉乃井

ホテル

バイキング

交流会
in

松葉会会長 四ツ谷 敬介

病院(松葉会) & サングレイス香々地(香風会)の交流会を開催しました。前回とても好評だった『別府杉乃井ホテルのバイキング第2弾』は、180名を超えるほど参加をいただきました。10月28日(土)と11月4日(日)の2回に分け優雅なディナータイムを過ごすことができました。



4階病棟「クリスマス会・お誕生日会」

レクリエーション コーナー



担当：土谷 由香理 岩坂 正一

4階病棟では、12月生まれのお誕生日会及びクリスマス会を開催しました。誕生日会では、恒例のハッピーバースデーの歌と病院からのささやかなプレゼントを贈呈致しました。クリスマス会では、入所者全員が好きな飾りを一つ選んでツリーに飾りつけをして全員の協力のもと、とても素敵で大きなクリスマスツリーが完成しました。リハビリスタッフによるサンタクロースの構音体操では、皆さん大きな口を開け、一人ひとりが一生懸命に上手にお口の体操を行う事ができました。頑張って取り組んだ入所者全員にクリスマスプレゼントがあり、「嬉しい」と満面の笑顔が印象的でした。

1時間という短い時間でしたが、ご家族の方々の参加もあり楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

菜の花 「忘年会行事」

担当：澤永 由希子

12月4日（月）、5日（火）の2日間、忘年会でおやつバイキングを行いました。

メニューにケーキ4種類、ゼリー3種類、フルーツ盛り合わせ、和菓子を用意し、利用者様におやつを選んで頂き、いつもとは違うおやつを楽しんで頂きました。

美味しそうに食べている皆様の笑顔を見ることが出来、とても楽しいおやつバイキングになりました。



サングレイス香々地 「外出行事」



担当：内川、池田、長野、野村、進藤、志太波

10月25日～10月31日にかけ道の駅くのみへ、入所の皆様と外出を行いました。

天候にも恵まれ、姫島を望む景色を堪能しました。外の空気を吸い、会話を楽しまれ沢山の笑顔を見る事が出来ました。

海を見ながらのおやつは、ひと際美味しかったと思います。

事故もなく、有意義な時間を持つことが出来ました。

●院外研修会

H29. 10. 14

◆大分県認知症ケア専門士スキルアップ研修会
「見える事例検討会」
講師/ファシリテーター：ものわすれ相談室 後藤 聡美

H29. 10. 21 11. 17

◆宇佐地域認知症対応力向上研修会
講師：ものわすれ相談室 後藤 聡美

H29. 10. 21-22

◆日本骨粗鬆症学会
講演：糖尿病内科医師 齊藤 美恵子

H29. 11. 19

◆第35回大分県病院学会
・「地域の連携で認知症者の内服管理を支援する」
発表：ものわすれ相談室 後藤 聡美
・「車椅子座位で下肢をサポートする手作りアイテムの紹介」
発表：作業療法士 藤原 裕希
・「健診内容の充実・満足度向上への取り組み」
発表：医事課 久松 優太
・「外来衛生材料管理の効率化」
発表：看護師 河野 みゆき
・「A病院における認知症看護対応力向上に
向けての取り組み」
発表：看護師 出口 和代

H29. 12. 14

◆平成29年度高田高校1年生職業インタビュー
講演：ものわすれ相談室 後藤 聡美

●院内研修会

H29. 11. 16

◆院内研修(中央教育推進委員会)
「認知症サポーターの養成講座」
講師：豊後高田市地域包括支援センター
副センター長 谷口 仁美 先生



経理課 野上 麻友美
認知症とはどういう病気なのか正しく理解し、認知症の人やその家族に対して私たちができることは何か、適切な対応とはどういうものかについてお話がありました。

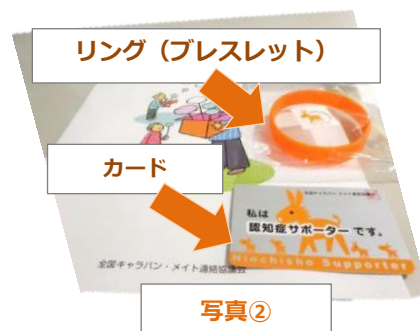
キーワードは『もし、自分だったら』。手で作った望遠鏡を覗いた状態(写真①)が認知症になった人の視野と同じだそうです。相手の視野に入ったところで声をかけ

ないと気付かれなかったり、逆に驚かせてしまったりするそうです。また、DVDで事例をふまえた「悪い対応」と「ふさわしい対応」についても学びました。悪い対応をした場合、認知症の人の自尊心を傷つけたり、興奮させてしまったりします。改めて接することの難しさを痛感しました。

この研修の出席者には認知症サポーターの証となる『リ



写真①



写真②

ング』と『カード』(写真②)が配布されました。認知症のサポーターとしてこれらは応援者の目印になるそうです。

最後に講師から「残された機能を最大限に活かして欲しい、たとえ認知症になってもサポートできる病院であって欲しい」とお言葉をいただきました。高田中央病院が認知症の人やその家族にとって、安心できる場所となるよう、また一個人としても認知症サポーターとして力になれるよう取り組んでいきたいと思いました。

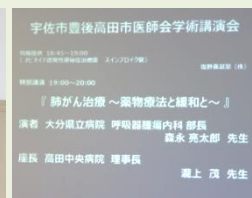


H29. 11. 30

◆認知症講演会(高田医師会)
座長：理事長 瀧上 茂
「高田中央病院における認知症患者さんへの取り組み」
講演：認知症看護認定看護師 後藤 聡美
「アルツハイマー型認知症の中核症状と
BPSDの対応について」
特別講演：香川大学医学部 精神神経医学講座
教授 中村 祐 先生

H29. 11. 22

◆医師会学術講演会(宇佐市医師会 豊後高田市医師会)
「肺がん治療～薬物療法と緩和と～」
座長：理事長 瀧上 茂
演者：大分県立病院呼吸器腫瘍内科部長 森永亮太郎 先生



H29. 12. 14、12. 15

◆医療安全研修
(中央教育推進委員会)
講師：医療安全管理室 木部室長
講師：臨床工学科 大塚科長



TEL 0978-22-3745

特別診療	肝臓外来	寺尾教授 (毎週)月曜日/(月3回)土曜日
	代謝内分泌外来	衛藤教授 (2ヶ月に1回)土曜日
	小児科外来	是松医師 (月1回)土曜日
	総合診療外来(物忘れ・認知症外来)	吉岩講師 (不定期)金曜日/土曜日
	ヘリコクター・ピロリ菌外来	山岡教授 (月1回)土曜日

※特別診療を受診希望の方は予約が必要です。お申し出下さい。

●受付時間 午前8:30～12:30(木・土は12:00まで) 午後2:00～5:30(一般内科のみ) *予約のみ

内科	月		火		水		木		金		土		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
一般内科	瀧上 山本	道野	坂本 堤	勝田	瀧上 坂本 勝田	宮内	瀧上 三重野	休診	勝田 藤岡 瀧上 道野	三重野 (第2・3・4・5週) 勝田 (第1週)	瀧上 神宮(第1・3週) 三重野(第1・3週) 得能(第2週) 勝田(第4・5週)	休診	
専門外来	循環器内科		鬼木		得能			休診	樋口		得能(第2週)	休診	
	呼吸器内科	三重野				三重野		三重野	休診		三重野 (第1・3週)	休診	
	消化器内科	勝田	藤岡	水上 勝田	水上	藤岡 首藤	首藤	勝田	休診	岡本 勝田	藤岡 岡本	勝田	休診
	ピロリ菌外来	藤岡		藤岡* 瀧上		藤岡			休診	藤岡*		瀧上 山岡(月1回)	休診
	肝臓内科	寺尾		坂本		坂本			休診			瀧上 山岡(月3回)	休診
	糖尿病内科	斉藤 (第2・4週)	斉藤 (第2・4週)	斉藤 (第2・4週)	斉藤 (第2・4週)	斉藤 (第2・4週)	斉藤 (第2・4週)	斉藤 (第2・4週)	休診	斉藤 (第2・4週)	斉藤 (第2・4週)	斉藤	休診
	神経内科	軸丸						片山(徹) (第2・4週)	休診				休診
	血液内科							片山(映)	休診				休診
	リウマチ膠原病内科						大塚(1・3週) 押領司(2・4週)		休診				休診
	腫瘍内科	小森 (第2・4週)							休診				休診
禁煙外来		三重野 瀧上 14時～16時					瀧上 10時～12時	休診				休診	

●受付時間 午前8:30～12:30(木・土は12:00まで) 午後2:00～5:30

消化器疾患 内視鏡センター	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	勝田	勝田	水上	水上	首藤	首藤	勝田		岡本	岡本	勝田	
	藤岡	藤岡	藤岡		藤岡		休診		藤岡	藤岡	山岡 (月1回) 大分大学 (第4・5週)	休診
			圓福	圓福								

●受付時間 午前8:30～12:30(火・水・木・土は12:00まで) 午後4:30～5:30

整形外科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	小田	小田	小田	手術	田籠 小田 第1・3・5週	手術	小田	休診	樽角	小田	小田 大分大学 第1・3・5週	休診

●受付時間 午前8:30～12:30(火)/8:30～12:00(木)(土) 午後2:00～4:00(火)/2:00～4:30(金)

外科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	休診	休診	圓福	圓福	休診	休診	九大別府(乳腺) 第1・3・5週	休診	休診	九大別府	九大別府 (乳腺)	休診

●受付時間 午前8:30～12:30(木・土は12:00まで) ※・・・急患の方はこの限りではありません。
(月～金、新患の方は10:30まで)

泌尿器科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	江本	休診※	江本	休診※	江本	手術	江本	休診	佐藤	休診※	大分大学	休診

●受付時間 午前8:30～12:00 午後4:00～5:00

眼科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	尾崎	尾崎	尾崎	尾崎	尾崎	尾崎	尾崎	休診	尾崎	尾崎	休診	休診

●受付時間 午前8:30～12:30(木・土は12:00まで) 午後4:00～5:30

皮膚科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	野柳	野柳	大分大学	休診	野柳	野柳	野柳	休診	野柳	野柳	野柳	休診

●受付時間 午前8:30～12:30(水・木は12:00まで)/9:00～11:30(土) 午後2:00～5:00(水は3:00から)

小児科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	新納	新納	新納	新納	新納	健診(~15:00) 新納	新納	休診	新納	新納	是松(第3週)	休診

麻酔科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	長峰	長峰	長峰	長峰	長峰	長峰	長峰	休診	長峰	長峰		

画像診断センター (放射線科)	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
	道野	道野	道野	道野	道野	道野	道野	道野	大分大学	道野	道野	